

# Press Release

2026 年 4 月 20 日

※2026 年 4 月 14 日にドイツ・ヘンケル本社が発表した[プレスリリース](#)の日本語訳版です。本業績レポートは英語が原本であり、その内容・解釈については英文原本が優先します。

サステナビリティへの取り組みを強化

## ヘンケル、2030 年に向けた新たなサステナビリティ目標を発表

- **ネットゼロ:** スコープ 1 およびスコープ 2 の温室効果ガス排出総量を 42%、スコープ 3 の排出総量を 30%削減し、2045 年までにネットゼロ排出を目指す
- **循環型経済:** コンシューマー向け製品のパッケージに使用される再生プラスチックの割合を少なくとも 35%に引き上げ、パッケージの 100%をリサイクル・再利用可能な設計にする
- **グローバルなジェンダー平等:** 管理職レベル全体で男女それぞれの比率を少なくとも 45%にすることを目指し、世界規模で賃金の公平性を確保する\*
- **持続可能なサプライチェーン:** サプライヤーの 85%が特定のサステナビリティ基準を満たすことを確保する

ヘンケルは、創業以来培ってきたサステナビリティにおける誇るべき歩みと 150 年の伝統に基づき、2030 年までの新たな中期目標を設定しています。新たなサステナビリティ目標は、バリューチェーン全体にわたる当社の影響をさらに加速させるという戦略的な意思決定が反映されています。**気候変動対策、公平性、持続可能なサプライチェーン**を統合した包括的なアプローチにより、ヘンケルは新たなサイクルをスタートさせます。

最高経営責任者のカーステン・クノーベルは、「150 年にわたり、ヘンケルは責任ある事業慣行と強固な業績成長は両立できることを証明してきました。今日のように困難で変動の激しい環境においては、持続可能な未来を形作るために、明確で一貫した姿勢をとることはこれまで以上に重要です。「意義ある成長」アジェンダに沿って、ヘンケルは今、意欲的でありながら具体性のある新たなサステナビリティ目標を掲げ、次なるステージへと踏み出します。私たちは、実質的な影響を生み出して持続可能な価値をさらに推進できると考える 3 つの主要な優先事項に焦点を当てています」と述べています。

さらに、人事、インフラサービス、サステナビリティ部門担当取締役副社長のシルヴィー・ニコルは、「当社の誇るべき伝統は、責任ある姿勢とパイオニア精神の双方を礎とするものですが、特により

持続可能な未来の構築においてはそれが顕著です。新しい目標には、バリューチェーン全体における影響を加速させるという戦略的決定が反映されており、事業全体の日常的な意思決定にサステナビリティを組み込むための、明確で実行可能な枠組みを提供します。永続的で包括的な影響を生み出すには、世界中のすべてのチーム、市場、拠点で、勇気と共通のコミットメントを持つことが必要です」と述べています。

### ネットゼロと循環型経済への歩みの加速

ヘンケルは **2045 年までにネットゼロの実現を約束**しており、この目標を達成するため、2024 年に「Science Based Targets Initiative」(SBTi: 科学に基づく目標設定イニシアチブ)によって認証された包括的なロードマップを策定しました。当社は、エネルギー効率の向上、再生可能エネルギーやより持続可能な燃料の使用拡大により、バリューチェーン全体の排出量を大幅に削減することを目指しています。この歩みにおける重要なマイルストーンとして、**ヘンケルは 2030 年までに(2021 年比で)スコープ 1 およびスコープ 2 の温室効果ガス排出総量を 42%、スコープ 3 の排出総量を 30%削減することを目指しています**。スコープ 1 と 2 の排出量は当社の事業活動からの直接的および間接的な排出を対象としており、スコープ 3 はバリューチェーンの上流および下流で発生する排出を対象としています。これまでに達成された進捗は、ヘンケルが正しい軌道に乗っていることを示しています。2025 年までに、当社は **2021 年を基準としてスコープ 1、2、3 の排出量を 29%削減し、世界中の 37 の拠点でカーボンニュートラルな生産を実現**しました。こうした背景のもと、ヘンケルは**再生可能電力の割合を世界全体で 97%にまで大幅に引き上げ**ました。これらの削減には、業務改善と、サプライヤーやパートナーとの連携強化の両方が反映されています。

ヘンケルの環境保護への取り組みにおけるもう一つの重要な要素は、循環型経済を支援する姿勢です。当社は、コンシューマーグッズのパッケージに使用される再生材の割合と、リサイクル・再利用可能な設計されたパッケージの割合について、明確な目標を設定しました。**2030 年までに、再生材の割合を現在の 28%から 35%以上に拡大する計画**です。さらに、**2030 年までにパッケージの 100%をリサイクル・再利用可能な設計にすることを目指**しており、現時点ですでに **88%に達**しています。

当社はまた、アドヒーズ テクノロジーズ(接着技術)事業部門が開発した特殊な接着剤ソリューションを通じて、リサイクル可能なパッケージの開発に貢献しています。これらのソリューションは、デュッセルドルフと上海にあるヘンケルのカスタマーセンターの一部である専用の「パッケージング・リサイクラボ」でテストされています。

### 世界規模で社員の公平性を推進

ヘンケルは、機会平等、インクルーシブな職場、そして公正な賃金への取り組みを再確認しました。**管理職における世界的なジェンダーバランスの達成に努め、2030 年までにすべての管理職レベルにおいて男女がそれぞれ 45%以上を占めるように**します。2025 年末には、管理職に占める女性の割合はすでに **43%以上**に達しました。これは目標達成に向けての**重要なマイルストーン**であると

もに、具体的な成果を示しています。さらに、2030年までに世界規模で賃金の公平性を達成することを目指しています。いずれの目標も、現地の法律および地域に合わせたアプローチを遵守して実施されます。

#### より持続可能なサプライチェーンのための協力

ヘンケルは、サプライヤーと密接に連携し、サプライチェーン全体のサステナビリティ基準を引き上げるための取り組みを強化しており、安全、健康、環境保護、社会的基準、および公正な事業慣行におけるビジネスパートナーのパフォーマンスを体系的に評価しています。2030年までに、**サプライヤーの85%が当社のサステナビリティ基準を満たすことが期待されています**。「Together for Sustainability (TfS)」などの業界横断的なイニシアチブや、中小規模のサプライヤーを対象とした的を絞った支援プログラムが、この野心的な取り組みを支える主要な柱となっています。

ヘンケルの進捗は、国際的に認知されたサステナビリティ評価によって裏付けられています。2025年のCDP評価において、ヘンケルは気候変動分野で初めてA評価を獲得しました。また、最新のEcoVadis評価でもパフォーマンスを向上させ、再びゴールドメダルを獲得しました。

新たなサステナビリティ目標の全容については[こちら](#)をご覧ください。

*\*現地の法律および地域に合わせたアプローチを遵守*

#### ヘンケルについて

ヘンケルはブランド、イノベーション、テクノロジーにより、産業およびコンシューマー向け事業において世界中の市場をリードしています。アドヒーズ テクノロジーズ(接着技術)事業部門は接着剤、シーリング剤、機能性コーティング剤市場のグローバルリーダーとなっています。コンシューマーブランド事業部門は特にランドリー&ホームケアやヘアの分野において、世界中の市場やカテゴリーをリードする地位を維持しています。ヘンケルには3つの強力なブランド、LOCTITE(ロックタイト)、Persil(パーシル)、Schwarzkopf(シュワルツコフ)があります。2025年の売上高は205億ユーロ、営業利益はおよそ30億ユーロでした。ヘンケルの優先株は、ドイツ株式指数DAXのリストに入っております。ヘンケルには長いサステナビリティの歴史があり、具体的な目標を掲げた明確なサステナビリティ戦略を推し進めます。1876年に創業したヘンケルは現在、世界に約47,000名の社員を擁し、多様なチームが強固な企業文化、共通の価値観とヘンケルの社員をひとつにまとめる共通基盤である企業目的「Pioneers at heart for the good of generations」の元に結束しています。さらなる情報は[こちら www.henkel.com](http://www.henkel.com)をご覧ください。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

写真素材は[こちらからダウンロード](http://www.henkel.com/press)いただけます。 [www.henkel.com/press](http://www.henkel.com/press)

— 本件に関するお問合せ先 —  
ヘンケルジャパン株式会社 広報室 小野尾 秀美  
Email : [hidemi.onoo@henkel.com](mailto:hidemi.onoo@henkel.com)